

早稲田のいぶき



▲榎ふれあいデー(第四分科会)



▲放置自転車・ポイ捨て防止キャンペーン(第三分科会)



▲安全・安心パトロール(第二分科会)

榎地区協議会とは

私たちの地域には、さまざまな住民団体があります。いままでは、行政から提起された諸問題を、その要請に応じてそれぞれの団体が取り組んできました。

これからは、各団体を集約し「地区協議会」として、いままで以上に広い視野を持ち、私たちの、日ごろの生活の中から課題を提案してまとめ、行政への協働参画という形で問題解決に向け、少しずつ進めていくことになりました。

私たち住民が地域の問題を提言し、協議しながら、十年後、二十年後に向けて、次世代へ受け継がれるような、より安全な環境・子育て・福祉等を考え、住みやすいまちにしていきたいと思っています。

「榎地区協議会」は4つの分科会に分かれています。

**第一分科会「まちづくり分科会」は、
現在・未来のまちづくりについて**

**第二分科会「地域安全分科会」は、
子どもの安全・安心について**

**第三分科会「環境美化分科会」は、
放置自転車やポイ捨て問題について**

**第四分科会「地域ふれあい分科会」は、
世代を超えたふれあい活動について**

各分科会の活動は、住民の生活に欠かせない、さまざまな分野にわたっており、地域の皆様のご参加、ご協力を賜りながら、協議会委員一同、心を合わせて活動していきたいと思っています。



▲榎地区協議会会長
黒川 孔晴

榎地区協議会の4つの分科会を紹介させていただきます。
興味があり、参加してみたい活動がありましたら4ページにあります問合せ先までご連絡ください。

第一分科会 まちづくりへつり分科会

榎地区・まちづくり分科会は、地区住民が主体・参画・自治のまちづくりを行政とパートナーを組み、具体化するために集まりました。そして、地区の特性を生かした「榎地区まちづくり方針の意見書」として、「新宿区都市マスタープラン」に反映させました。

当地区の将来像は、「今も昔も文化と活力のあるまち 早稲田」です。まちづくりはハードとソフトの両面から、これらを具体化するために、二本柱(大項目)と9つの視点(中項目)から、それらを要約したのが、左図の「榎地区まちづくり方針の構成図」です。
課題別プロジェクトとしては現在、つぎの5つのプロジェクトが進行中です。

- ①「早稲田まちづくり学」講座
- ②「赤城下周辺エリア」まちづくりの推進
- ③「弁天・喜久井周辺エリア」まちづくりの推進
- ④「馬場下周辺エリア」まちづくりの推進
- ⑤早稲田大学との提携による学生街の構築

「早稲田まちづくり学」講座は、地区の歴史地域学・事始めとして「地の記憶」をキーワードにテーマごとに講師と評者と参加者で協働討論する講座を、本年度は7回開催しました。

②、③、④は、早稲田大学 都市・地域研究所と地区との協働プロジェクトです。まちづくりは、地区とワンルームマンション等の住民がともに、地域のコミュニティに積極的に参画できる場を創出して、相互の連帯・共助ができる体制・環境をつくるのが狙いです。地球環境の起点や目線、また女性の方からの視点や外国人の方のグローバルな発想や課題提起も必要です。

まちづくりとは、道路をつくることなく、高低差のある当地区の地形・環境を活かし、快適な暮らしをともに考え、活かす、人づくりです。志や前向きな提言のある方は、積極的にご参加ください。

榎地区まちづくり方針の構成図

①安全・安心のまちづくり

1 道路

幹線道路の整備を事業決定前から、地区住民と施工者や行政と支援者で合意形成できる案・方法を創出できる組織・体制づくりを早急に立上げる。

2 かたち

景観を配慮した地区計画で、地区環境、建物、外構を整える新しいルールを創出する。

3 安全・防災・バリアフリー

災害時の避難場所、防犯情報の連絡網等を整備するとともに、災害時要援護者も安心して避難できるようユニバーサルなまちへ向け整備する。さらに犯罪のないまちにする。

②活力ある地区づくり

4 地区の活性化

地区住民が主体となって行政とともに地区の地域性、歴史を考慮した居住者と商店街との健全な活力ある地区づくりの手法を創出する。

5 コミュニティづくり

地区住民とワンルームマンション等の住民がともに地区のコミュニティに積極的に参加できる方法・場を創出し、相互の連帯・共助ができる体制を創る。

6 価値観・ルール

都心部という居住地区と循環型社会という歴史観のもとで、多くの人が集まって快適に生活できる新しい英知と、そのルールを創出・共有するとともに、周知・実行する。

③循環型社会を配慮した快適な暮らしができるまち

7 ゴミ・駐輪・駐車

快適な地区、環境、暮らしを維持するためには、それらを阻害する負の条件(廃棄物等)を軽減・防止するマナー・ルールを定め、周知徹底する。

8 緑と潤い、居住・生活環境と文化

心を癒し、愛でる場所は緑や公園であり、地球温暖化を防止するためにも、積極的に緑化を推進する必要がある。また、文化・文化財の保全と活用を考える。

9 地球・都市環境・温暖化対策

健康で文化的で快適な暮らしを実現するため、地球温暖化、大気汚染等を軽減・防止する新しいライフスタイルの創出が必要である。その知恵と仕組みづくりが共存できるテーマである。

第一分科会

地域安全分科会

第一分科会は、地域の子どもの安全を考える「地域安全分科会」と位置付けています。分科会の活動内容は以下のとおりです。計画倒れにならないようあまり緊張しない活動をしていきます。

●目的

目的は、榎地区の「子どもの安全」です。

榎地区は「子どもが安全に安心して相当気込んでいる」「悪い者が入り込めない雰囲気をつくりあげる」という雰囲気を感じられるまちとしたいと思っています。そのためには、地区の皆様のご協力が必要です。

●地域安全スローガン

子どもは宝

すでにスローガンポスターを町会・学校・行政機関・交番などのご協力を得て、地区内の掲示板などに掲示していただいています。

なお、今後は、商店などの店頭にも掲示をお願いして「まちぐるみ」の活動としていきます。商店の方々は、店の前を通る子どもたちに常に声を掛けてあげてください。

また、ご自宅やビル、商店にポスターを掲示していただいても募集しています。



●区への要望

榎地区の「防災スピーカー(防災行政無線)」の増設を要請しています(現在、区内9カ所、榎地区9カ所に設置)。

「防災スピーカー」とは、区施設等に設置してあるスピーカーで、災害時には被災・避難情報などが流れます。平常時には毎日、夕刻時に「夕焼け小焼け」が流れています。

●安全・安心パトロール

「掲示板の状況確認」「子どもの安全に障害になりそうな場面の有無のチェック」「下校時の子どもの見守り」などを目的として、分科会メンバーが地区別に巡回し、安全対策の改善策を考えます。



▲「子どもは宝」ポスター

環境美化分科会

「環境美化」の第三分科会は、地域の住みよい環境づくりや、きれいなまちにするために、地域の皆様のご協力と11名の委員とで活動しています。

第三分科会では、地区協議会発足直後、地域活動としてやるべきことがいろいろある中で、何を課題にし、どう取り組んでいくのかについて話し合いました。その結果、まず「放置自転車とポイ捨て禁止運動」をすることになりました。

発足以来、「放置自転車・ポイ捨て防止キャンペーン」を5回行い、放置自転車を二百二十五台撤去することができました。

早大通りでは放置自転車を、早稲田通りでは、たばこのポイ捨て禁止の呼び掛け等をしてまいりました。その都度、近隣町会の町会長さんを通じてキャンペーン参加をお願いし、毎回大勢の住民の方々のご協力の下、実施しています。今後この活動を続けていき、地域に浸透することを願っています。

榎地区の他の場所へも広げていけるよう、また、他の方法でのキャンペーンの実施も検討しています。環境美化分科会としては、放置自転車・たばこのポイ捨ての問題だけではなく、公園やまち並みの整備・ごみ問題等、今後、どのようなことを課題に活動していくのかを検討熟慮し、皆様のご助言とご協力を得ながら遂行してまいりますので、どうぞ皆様のご参加をよろしくお願い申し上げます。



▲榎ふれあいデー（第四分科会）



▲放置自転車・ポイ捨て防止キャンペーン（第三分科会）

地域ふれあい分科会

少子高齢社会・核家族化・地域社会との交流の希薄化・生活ニーズの多様化等の社会的背景や、榎地区の現状と課題から、「大人も子どももみんな楽しく、いきいき暮らすまち榎」を指針としています。

第四分科会は、運動スローガン

- ① ひろげよう かわすあいさつ
- ② ひろげよう 地域のふれあい世代間交流
- ③ そだてよう 明日を担う子どもたち

を掲げ、「榎ふれあいデー」を毎月第一日曜日の午後1時～4時に、早大通りで実施しています。このイベントは、平成18年10月のオープンニング以来、本年3月で17回目を数えました。

毎回、80名近い参加があり、輪投げ・囲碁・将棋・クラフト・インラインスケート・絞り染め・大道芸・お絵かき・ゲーム等、数々の遊びを展開しています。赤ちゃんから高齢者まで、笑顔と語り合いと歓声に出会えるひとときです。

これまで、高齢者クラブ・町会・スポーツ交流会・榎町児童センター・鶴巻小学校・鶴巻図書館・母の会鶴巻支部・ほっとサロンえのき等の団体や個人の協力により、支えられてきました。

これからも、地域の誰もが顔見知りになるような活動を行い、犯罪の抑止・子どもや高齢者の見守り、支えあえる地域を目指し、取り組んでいきます。

当分科会では、ふれあいサポーターとして、一緒に汗を流してくださいるボランティアを募集しています。

榎地区協議会への問合せ

榎地区協議会事務局 多田 TEL 3202-2461 FAX 3202-2476
〒162-0042 新宿区早稲田町85 榎町特別出張所内